

平成29年度 第1回男女共同参画推進委員会 議事録

日時	平成29年8月18日（金） 開会：午後3時30分 閉会：午後4時50分
会場	蕨市役所 3階 特別会議室
出席	足立、加藤、成田、岩淵、池上、金丸、坂口各委員 伊藤市民生活部長 事務局（樋口室長、津田係長）
資料	資料1 蕨市男女共同参画推進委員会委員名簿 資料2 平成28年度 男女共同参画関連事業報告 資料2-1 平成28年度 DV関連事業報告 資料3 審議会等の女性委員の登用状況

1. 開会
2. 委嘱状の交付
3. 市長あいさつ
4. 委員の自己紹介
5. 委員長の選出（委員長＝足立委員、職務代理＝岩淵委員）

委員長は互選により足立委員が選出された。

職務代理は岩淵委員が委員長から指名された。

会議の公開及び傍聴について「蕨市市民参画と協働を推進する条例」に基づき定められた「蕨市審議会等の会議の公開に関する要綱」により、この会議の公開を決定し、傍聴にかかる取り決めを行った。（今回の傍聴者は無し）

6. 議題

- (1) 平成28年度男女共同参画関連事業報告について
(事務局) 資料2「平成28年度 男女共同参画関連事業報告」について報告

【委員からの意見】

(委員) 現在のパートナーシッププランは、性的少数者に対する配慮が抜けおちているのではないのでしょうか。次の改訂にあたっては、性にとらわれることなくという観点で各事業を見直していただくのがよいと思います。施策に関しては、きめ細かく色々やっていると思いますが、保育園や学校等の相談で、LGBTへの配慮はあるのでしょうか？

(委員) 先日小学校であった件では、先生が軽く言ったつもりであったようですが、当事者を深く傷つけてしまったものでした。そのようなことから、まだ多くの方が同じではないという意識に立っていないのかもしれないですね。今後、施策にもそのことを盛り込んでもらえたらと思います。

(事務局) 資料2-1「平成28年度 DV関連事業報告」について報告

【委員からの意見】

(委員) 「教職員へのデートDV研修の充実」の項目では、デートDVの講演会がありますが、生徒と一緒に受けたものと解釈して良いのですか。

(事務局) その通りです。本来は生徒と別にやらせていただくと良いのですが、業務に支障がない範囲で、参加するという取り組みをしています。

(委員) 他にも仕事があるのはわかりますが、出席していない先生もいるので、一緒に受けていただきたい。この実績で、教職員へのデートDV研修の充実が図れているか疑問があります。

(委員) 各中学校にも事情があるとは思いますが、その意見を学校に伝えていただきたい。

(委員) 住民基本台帳事務における支援措置の件数は、57件すべてが蕨に避難してきているのですか。そうであれば、支援の自立状況や本人の満足度などは分かれますか。

(事務局) 57件すべてが蕨に避難されているものではありません。蕨から出ている方もいますので、その合計とご理解いただければと思います。また、満足度や状況については、関係部署と連携を取りながら、なるべく当事者の希望や状況に沿うように対応しています。

(委員) 緊急一時避難の実績がありますが、その判断は職員が行っていますか。

(事務局) 緊急一時避難は、通常は、県の婦人相談所と連携してシェルター等へ避難するのですが、相談のあった曜日や時間により、シェルター等へ入所できない場合の一時的な緊急の措置となります。

(2) 審議会等の女性委員の登用状況について

(事務局) 資料3「審議会等の女性委員の登用状況」について報告

【委員からの意見】

(委員) 女性管理職の割合について、資料をこの会議で出してもらうことはできますか。

(事務局) どのようなものが出せるかは調整します。

(委員) 女性の登用率38.6%のうち兼務者はどのくらいいるのですか。

(事務局) 把握しておりません。

(委員) 登用率が上がっても、兼務者が多いようであれば、その数値は意味がないのではありませんか。いろいろな方にやっていただける方が良いのではないのでしょうか。

(事務局) 以前から問題となっていますが、制限できるものでもないので、できる限り配慮していきたいと思います。

(委員) あて職が多くありますね。

(事務局) 選出方法を職ではなく団体にするなど、今後検討していきたいと思います。

(3) その他

(事務局) 第9回イクメン&料理男子フォトコンテスト及び女性リーダー養成講座の応募チラシを配布して説明

【委員からの意見】

(委員長) 最後に、一人ずつ意見等をお願いします。

(委員) イクメン&料理男子フォトコンテストについて、実施時期や表彰式の周知などの意見を昨年出したが、今年もかわっていません。表彰式は、他の事業と組み合わせるなど検討していただきたい。

(委員) 女性委員の登用状況について、どこの自治体でも年齢的に高齢の方が多くと思われるが、若い女性を登用できる方法はないのかなと思います。県の男女共同参画アドバイザーの講座を受けたが、やはり高齢の方が多く状況でした。

(委員) 男女共同参画事業というのは、まだよく知られていない気がします。

(委員) 啓発紙パートナーでは、いろいろな問題を提起されていますね。

(委員) パートナーは全戸配布しても関心のない方が多い状況です。今後もっと知ってもらえるように取り組みたいと思います。

(委員) 地域活動に若い人がなかなか参加してもらえない。良い意見は言ってくれるし、興味があったものについては出てくれるのですが、地域活動は難しいと感じます。

(委員) 男女平等推進市民会議も同様です。人権問題で職員が参加する研修会があることを知りましたが、とても良いことだと思います。

(委員) いろいろな部署から連絡をいただくが、もう少し部署同士で連携してほしい。いろいろなところに顔を出さなければならないし、同じようなテーマの時もあるので、まとめてもらえるとありがたい。また、若い方に参加してもらえよう、取り組みに仕掛けや工夫が必要かと思います。

(委員) 保護者を対象に講演会をやっても午後はなかなか集まらないため、午前の開催が増えている。

(委員) 男女共同参画推進委員会の任期2年のうちの1回くらいは、担当部署に会議に出てきてもらえるといいですね。

7. 閉会